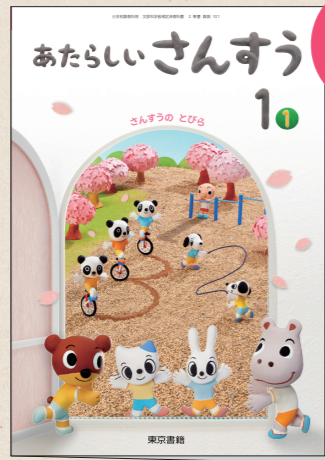


幼小の円滑な接続のために ～入学当初の学習のしやすさを追求

1年①は 入門期に特化

- なかまづくりと かず
 - いくつと いくつ
 - なんばんめ
- 5月中旬頃までの使用を想定



A4判
中綴じ

小学校での生活や
学習に慣れるまでの
1年生の学びを
サポート

算数の学習に
自信をもって、
次の教科書へ。



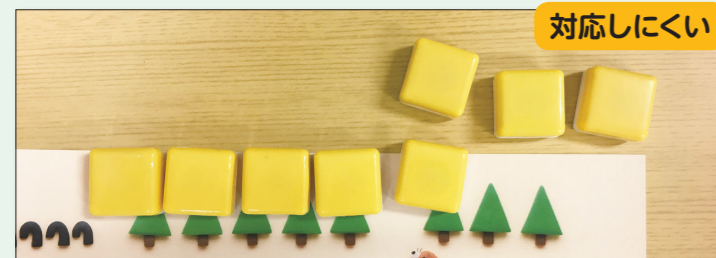
B5判

ブロックが置ける

平成 27 年度用教科書では…

先生の声
教科書を拡大コピーしないとブロックが置きにくいです。

児童の声
ブロックが動いちゃうよ。



対応しにくい

小さいイラストには、ブロックを1対1対応しにくい場合があります。



紙面がフラットになりやすく、ページの端の方では、ブロックが滑ってしまうこともありました。

改訂の核心!
2年度用1年①では、A4判に大判化し、綴じ方を改良したため、無理なく確実にブロックを置けるようになり、数の学習をスムーズに行うことができます。

右の二次元コードから「1年紙面の比較(動画)」もご覧ください。



対応できる

広い
A4判の広い紙面で、すべての要素にブロックを無理なく対応できます。



開く
フラットに開くので、ページの端の方にも、ブロックを安定して置けます。

ブロックが置ける → 数学的活動が確実にできる

書き込める

先生の声
教科書を引き出しにしまってから、ノートを出して…
出し入れだけでも1年生は時間がかかってしまいます。

改訂の核心!
1年①は、教科書に書き込めるオールインワン型の紙面なので、授業中に教科書やノートを出し入れする必要がなく、算数の学習に集中して取り組みます。

▼1年①p.22-23

● 7はいくつといくつ

7が7こあります。
かくしているかずをあてましょう。

7
6 1 4

7 7

2 3 3 4

かぞえよう 2と5で…

市販のノートと同じサイズの枠に書き込みます。

新開発の用紙で書きやすく消しやすい
筆記適性を高めた新開発の用紙を採用しました。

幼児期の学びとつながる

改訂の核心!
スタートカリキュラムでは、幼児期の遊びを通じた学びと教科の学習を、円滑に接続することが求められています。1年①の巻頭に、**幼児期に育った数や量への関心・感覚を引き出すページを新設**しており、入学直後の児童が安心して算数の学習へ入っていくことができます。

▼1年①p.1

くらべたことがあるかな

遊びの中で数や量に着目した経験を想起して、算数科の学習へつなげます。

あっちの積み木は高いな。

わたしのドングリの方が多そうだな。

ぼくの方がジュースが少ないな。

▼1年①p.2

おいしいのはどちらかな

数への関心を高めてから、算数科の学習へ
直感的に数の多少を判断することで、数への関心・感覚を引き出します。この次のページから、算数科の学習が始まります。